

宇宙ビジネスを創出するプロジェクトチームが発足

玖珠町は、大分空港がアジア初の人工衛星の打ち上げ拠点となることから、これを契機に「宇宙ビジネス事業」を展開しています。

玖珠町での「宇宙ビジネス事業」を進展させるため、衛星データを活用し、新たな「ブランド米」を創出するチーム「アポロ」と玖珠産の食材を使った宇宙食の開発や町内飲食店で料理を開発するチーム「ビックバン」の2つのプロジェクトチームを9月に発足しました。

10月に衛星データを活用した米づくりの先進地である青森県を視察し、取り組みへの助言をいただいたところです。

11月11日に外部の関係者とチームによる初めての合同会議を開催し、本格的なプロジェクトが始動しています。

今後は、農林業や観光、教育など、「宇宙」をキーワードとした地域活性化の取り組みを行っていきます。



全国コミュニティ・スクール研究大会 in 玖珠が開催されました！

10月29日、くすまちメルサンホールで、全国コミュニティ・スクール研究大会 in 玖珠が開催されました。

午前中は、久留島武彦記念館キムソンヨシの金成妍館長による講演や大分県立玖珠美山高等学校の取組発表、午後にはパネルディスカッションと分科会が行われ、およそ1,200名（現地参加及びオンライン参加それぞれ600名）の方々が全国から参加し、「コミュニティ・スクールがつくる令和の学校」について意見を交わしました。

また、当日は豊後森機関庫公園でジャンボこいのぼりのくぐり抜けなども行われ、来町者の方々が楽しみました。



※コミュニティ・スクールとは、学校と地域住民などが力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる、「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。この研究大会は毎年開催され、九州での開催は福岡県春日市に次いで2回目となりました。

